

お子さんの目の発達は順調ですか？

こんなことはありませんか？



- TVや本を見るときに極端に目を近づける。
- 階段や段差で動きがとてゆっくりになる。進むことをためらう。など

乳幼児は、目の機能が発達する大切な時期です

生まれたばかりの赤ちゃんは、すでに光の明暗が分かるそうです。そして、3か月ぐらいになると動くものを追うようになり、6～8歳にかけて視力やその他の目の機能が育ちます。目の機能は、正しく見ることによって伸びるといわれます。



なぜ3歳児健診で視力検査をするのですか？

3歳児健診の視力検査は、両目の視力が順調に育っているかどうかを調べます。視力に左右差が出てくると、視力が育ちにくくなります。また、幼児期のお子さんは、少々の見えづらさを自覚していないことが多いので、発見の遅れにもつながります。だからこそ、3歳児健診での視力検査は重要なのです。

お子さんの目の育ちを守るために・・・

見えにくさの発見は、小学校に入学してからでは遅い場合があります。早く見つけて早く治療することがとても大切です。生活の中でのお子さんの目の使い方や見え方に「あれっ」と気づくことが、お子さんの目の育ちを守ることににつながります。

視力の育ち方（参考例）

年齢	見え方の目安
1ヶ月	目の前の手の動きや明暗がわかる
3ヶ月	50 cm～1m離れたものがぼんやりとわかる
3歳	全体の6割が「1.0」
4歳	全体の7割が「1.0」
5歳	全体の8割が「1.0」
6歳～	1.0～

※目の発達には個人差があります。

お気軽にご相談ください

E-mail torimo-s@mailk.torikyo.ed.jp

つくしんぼと、きらら、わくわく教室では相談と親子教室の2つの取り組みを行っています。

鳥取県立鳥取盲学校
つくしんぼ教室（鳥取盲学校内）
〒680-0151 鳥取市国府町宮下 1265
TEL 0857-23-5441
FAX 0857-23-5442

鳥取県立鳥取盲・聾学校附属
教育支援センターわくわく
わくわく教室（旧中部療育園内）
〒682-0805 倉吉市南昭和町 15
TEL 0858-23-9179

西部地区視覚障がい教育支援センター
きらら教室（鳥取県立皆生養護学校内）
〒683-0004 米子市上福原 7 丁目 13-4
TEL 0859-34-5910
FAX 0859-34-5910